\star ら浜 ま松 油いつ か 子 \mathcal{O} 心 意 気 を 示 そ う

空や

中 給 機 導 入 • 配 に \neg 断 古 反 対 $\overline{}$!

• ♦ 来嬉 _ _ _

の惨 止事るし がを + い 決心月二 定配 L 九 さ れ反 日ス 開 さ 対 れ 催 L ま 予 て L 定 きた た \mathcal{O} 0 浜 ょ 松 4 か 0 た 機に で 空 祭 す ょ で ね る は ` ル 市 民 が 1 ン パ 万 ルが ス ― Ø -曲の 技 墜 飛落 行 大

す Δ · • 曲 が技し 訓飛い 練行ニ 中 がュ 中门 止ス 機 さ 墜れ 落 た し原 、因 残は 念 な去 ۲ る لح 七 に 月 三 兀 名 日 \mathcal{O} パ 松 イ島 口基 ツ 地 ト所 が属 死の 亡 曲 し技 た飛 か 行 らチ で

今 祭 ・・パ あ ŧ L 、その 昨 `ル年 の危 絶も険 $\sum_{}$ スの 対のなれの浜 にも曲 が曲 松 あ中技浜技航 つ止飛松飛空 てし行航行祭 はては空を で 祭 再 喪 今 の開 市 ŋ まに後時し民 せ服ズでまの んしし あし反 た った対 2 いと た がを 5 中 思 今 い止 し 口、 L で لح 切 すて 思 墜 つ 5 ŧ 落 7 ら لح ゾた わ いね \mathcal{O} 年 、ば っはぶ 恐 な لح こり L ろ り のに ま まチ すーブ いせ W $\sum_{}$ ムル 0 لح でー は航 すイ 、空 。ン

. • ま V \ ユ ス

後

な

油 • • 来 市 か年中た φ のの 度 予 押 油 7 算 しく 機 ス (空飛 つは コ け 求 ? な勿 \mathcal{O} は、 ん論 中 ガ 反 対 て に カュ ソ 盛 ね IJ ま で り て 0 す。 込 ま か タ \mathcal{U}° ンクの 6 5 れま 「浜 Α ゴ W メ Α 松に L た С *に*。う S 配 _ $\overset{\sim}{\smile}$ な と 機 れ軍 いが さ は用 う配 れ ` 声備 戦 そ がさ う 争導 圧れだの入 準 費 倒たし 的 上 と 備 にに伝 そ えの三 いま ても八 のたいの億 で空まで円 す中すすが 。給 0 0 \

 \Diamond 最 ユ

すな • 浜 る 松 検 内 討 市 容を 議 で求 会 悪すめがい る 空 意 中 見給 り ま 書 _ た を 導 どね採入 はくし!択・ し配 ま備 しの た危 険 実 性 質を 的訴 にえ は 、政 導 府 入 • · 防 配衛 備庁 にに 反 慎 対 重

す・ ゜ど う 今も 後 度 防 ŧ は衛 ど庁 っは政 に い浜対や 、松 腰市 て 抜民はし けを で甘 な見 ど いてし 反 何 対 لح t を \mathcal{O} 示か ¬ £ そ 意 う押 見 で L 書 _ はつ あけを 7 提 ŋ ま < 出 せ る L ん感 7 かじ 下 ! が さ しい ま !

や★ \neg 浜 給い松 かっ 子 \mathcal{O} 心 意 気 を 示 L \mathcal{T}

5 ま

油 こ機 以入 、配 浜 備 松 「 を断 軍固 事 反 地一

れ導 上 • 基対 に! L な 11 た \otimes に 0

 \circ - \circ - \circ -年 一 _ _ \circ -月 — 八一 日 一 $\overline{}$ 浜 日 一 ___ 市 第 憲 兀 務 局 法 \bigcirc を 四 — 守る・憲一会 法 一 を一 守一 る一 平一 和 —

 \neg